

Bi-Digital O-Ring Test による 2 剤併用時の服用順の検討

山本重明 近森病院 O-リングテストクリニック

【目的】 2 種類の薬を併用する場合、同時服用がよいか、時間をずらして服用するのがよいのか、その場合どちらを先に服用すべきなのかを O-リングテストを用いて検討した。

【方法】 ウイルス感染に局所の循環傷害を伴い難治性となっている坐骨神経痛の患者において、抗ウイルス作用のある薬（A）と循環改善作用のある薬（B）の服用順について調べた。A と B を同時に、A を先に B を後から、B を先に A を後から服用する場合のそれぞれについて、実際に服用した時の全身ならびに局所の状態と、Thromboxane B2 および服用した薬の共鳴現象の変化を、O-リングテストを用い時間を追って観察した。また服用順による効果の違いを服用前に予測する方法を検討した。

【結果】 実際の服用では、A を先に、10～15 分後に B を服用する方法が、最も良い結果が得られた。薬を 2 剤とも手に持たせて適合性試験を行うときに、薬を持たせる順番を変えると O-リングの強さにわずかに差がみられ、A を先に持たせる方が B が先の場合より O-リングが強かった。まず A を臍部の電磁場感受性領域に貼りつけて服薬した状態をシミュレーションしておき、後から B を手に持たせると、O-リングが最も強くなって服用順における差異がよりはっきり認められた。簡便な方法として、手掌の中央やや遠位部にある小腸(臍を含む)代表領域に、先に服用する薬をのせておき、後から指尖部に他の薬をのせればよく、さらに実用的には、先服する薬を手掌に握り込ませておき、後服する薬を指さすようにさせて O-リングテストをしても同じ効果を得ることができた。通常、先服すべき薬は単独で持たせた場合に O-リングがより強くなる薬であった。

【結論】 根治的で主力となる薬を先行して服用し、その 10～15 分後に対症的で補助となる薬を服用することが、臨床的効果を高めるものと考えられた。服用順を変えた場合の結果を予測するには、先服する薬を手掌に握らせておき、後服する薬を指でささせた状態で O-リングテストをすればよいと思われた。

Strain gage を用いた筋力測定による Bi-Digital O-Ring Test の客観化について

山本光祥 小林重芳 新井基夫
①聖マリアンナ医科大学②横浜総合病院③西華クリニック

(目的) BDORT では検者が被検者または第 3 者の O-Ring を引き、その筋力の変化を感じとることにより行われており、より客観化することが望まれる。筋力の変化を計測機を用いて測定し、数値で表示することにより、この検査法をより客観的なものとすることを試みた。

(方法) BDORT を検者と被検者の力の伝達機構並びに張力測定用 Strain gage (共和電業 K K 製)を用いて O-Ring を形成している指の筋力の最大値(O-Ring が開く時点の筋力)を測定しデジタル表示することにより行い検討を加えた。

(結果) 薬物適合試験および異常部位の検出等の BDORT 施行時の O-Ring を形成

している指の筋力は S t r a i n g a g e により測定、数値表示され、有意の変化 (コントロールに比しての減弱および増強) が認められた。

癌の高危険者に対する漢方と BRM 治療法

武田 義雄 M.D.

篠田総合病院内科

【目的】 0-Ring テストで癌の高危険者と判断された例に、的確な治療を行った結果、異常な反応が消失した例を経験したので報告する。

【方法】 症例: 36 歳男性歯科医師。無症状。喫煙歴 20 本/日, 14 年間。

右胸腺に CMV と HSV1 に共鳴があった。右気管支の部位と左下腹部に Integrin $\alpha_5\beta_1$, Oncogene c-fosAB2, TXB2, Hg に共鳴あり、Ach には軽度共鳴がみられた。右気管支の部位に肺腺癌、左下腹部に大腸癌と直腸癌に共鳴が見られた。ウイルス感染と上記の異常を治療すべく、0-ring テストで薬剤を選択し投与して治療を行った。

【結果】 胸腺のウイルス感染には麻黄附子細辛湯が有効とわかり、それを投与して 2 日程で改善した。しかし頭痛のため中止したら、また共鳴が出現した。次に葛根湯と桂枝茯苓丸を投与してウイルスの共鳴現象は弱くなった。さらに以下に行う BCG, OK432, 十全大補湯と桂枝茯苓丸でしだいに消失していった。

気管支と直腸の異常に対して、単独ではどの漢方エキス剤、BCG, OK432 でも治療効果は弱く、併用すると改再効繋があることがわかった。最も有効な漢方薬は十全大補湯と桂枝茯苓丸の併用であった。BCG の至適投与量は 0.5mg で、有効域は 0.2 から 1.0 mg であった。OK432 は第 12 日目に有効性を示し、17 日目には有効性が低下し始めた。恐らく 14 日あたりが最も有効性を示すものと思われた。OK432 は 0.5、1、2KE で比較した結果、0.5KE、1KE の順に有効で、2KE は害があると思われた。OK432 0.5KE 皮内投与 4-8 日後に第 2 回目の OK432 0.5KE 投与が有効となり、7 日後が最も有効と思われた。約 7 日ごと計 4 回 OK432 を 0.5KE 投与した結果、Integrin $\alpha_5\beta_1$, Oncogene C-fosAB2, TXB2 は約 2 か月後に消失した。

【結論】 癌の高危険者に漢方と BRM の併用治療をした結果、改善した症例を経験した。

Bi-Digital 0-Ring Test による長時間断水後の水道水検査

竹内ゆかり¹ 大原幸生² 山本重明³

【目的】 平成 6 年度は記録的な小雨のため、各地で水不足が問題となった。四国の松山市においてもダムの水が枯渇し、一日 8 時間から 19 時間の給水制限が 4 カ月間にわたって続くという、きわめて深刻な事態が発生した。通常は飲料水に不適とされているダム湖の底水を使用し、また連日 19 時間断水というきわめて異例の状況で飲料用としての安全が危惧された。今回我々はその水を 0-リングテストで調べ、また水道法による水質検査を併せて施行し検討したので報告する。

【対象】 給水制限となって 50 日目、19 時間断水となって 31 日目目の松山市の水道水で、塩化ビニール管により配水された一般家庭の蛇口より、19 時間断水直後に得られた最初の水 1L (A)。同じ蛇口より約 200L 排水後の水 (B)。給水制限のなかった高知市の水道 (C)。蒸留水 (D)。

【方法】 各々 150ml の量を用い 0-リングテストの連合性試験を行った。重金属や有

青物のサンプルを手を持ち共鳴現象を調べ、その物質の存在を検査した。その試料を社団法人知県食品検査センターに提出し、水道法に基づく水質検査を施行した。

【結果】 O-リングテストの連合性試験では A と B に有害反応が見られ、Aの方がBよりも有害反応が強かった。存在診断ではトリハロメタンが $A > B > C$ で、Fe と Pb が $A > B$ で反応が認められた。水質検査においてトリハロメタンが $A > B$ で認められた。Fe は A と B に多く検出された。Pb については検査法の感度が不十分のため O-リングテストの結果が確認できなかった。

【緒論】 O-リングテストの結果は、水質検査の結果と相関関係が認められた。O-リングテストは、水の飲用としての安全性を迅速かつ簡便に判断する方法として実用的で有用な方法と思われた。長時間断水後は、最初の水を洗濯などの生活用水として用い、しばらく排水した後の水を飲用として用いるのがより安全であろうと考えられた。

Bi-Digital O-Ring Test を用いた経別分類による漢方方剤とその量の決定 橋詰晴敏 南戸塚診療所

(目的) 漢方薬を処方する場合、従来腹診、脈診、舌診、望診、聞診、弁証論治法などが用いられてきたが、おのおのに熟達するには容易でない。まして合法や加減法は。

(方法) 病氣すなわち経絡の異常として、各経絡に反応する 12 種のカラーフェルトを患者の左手掌～上腕にのせて右側手掌より得られた BDORT が(-)となる色の経絡を異常とし、それに対応する方剤(臨床東洋医学原論 入江正著—漢方処方の経別配当表から、又一部補充して)を左手掌にのせた時右手掌より得られた BDORT が且つ病巣部の BDORT が(+)となる方剤とその量を決定した。

病氣を深い所から浅い所へ(心包→腎→肝→心→脾→肺→三焦胆→胃・大腸・小腸・膀胱)と移行させて行った。又病巣部へ薬が浸透するように、延髄部に気功紙を使用した。

(対象) 症例 1. パーキンソン病 72 才 男性 平成 6 年 11 月 2 日より治療開始。

症例 2. うつ病 40 才 男性 平成 5 年 11 月 16 日より治療開始。

(結果) 症例 1. ADL と痴呆傾向の改善・・・(ビデオあり)

症例 2. 平成 6 年 4 月より職場に復帰した。現在自分自身の能力で、仕事に対して 8～9 割程度対処出来る。うつ病の諸症状もない。

(結論) BD-ORT で(+)の方剤と気功紙を使うことにより、症例 1.2.共に漢方薬服用で病巣部の細菌、ウイルス、水銀が消失していった。替わってアセチルコリン等の神経伝達物質が出現してきた。従来の方法での漢方方剤の決定より簡単で、且つ的確であると思います。

Bi-Digital O-Ring Test を用いた鍼灸経絡治療の証 (病位・病状判断) の決定について 岩本 和久 岩本鍼灸院

(目的) 元来鍼灸治療における証の決定は、望・聞・問・切の四診という複雑な手順をもって決定され、施術者の陰陽五行の判断能力と、特に、切診といわれる手技の上で名人芸を検討したので報告する。

(対象) 平成6年8月より、平成7年3月までの患者を対象とした。

(方法) 両「缺盆 (S12)」による上下陰陽の判断

左缺盆 (S12) の O-Ring 開く→陽→上肢に病位ありと判断

右缺盆 (S12) の O-Ring 開く→陰→下肢に病位ありと判断

両「中府 (L1)」による左右陰陽の判断

左中府 (L1) の O-Ring 開く→陰→左上肢・右下肢に病位ありと判断

右中府 (L1) の O-Ring 開く→陽→右上肢・左下肢に病位ありと判断

火水 (実・虚) の判断

臈中 (RM 1 7) (火)・陰交 (RM 7) (水)の O リングにより開く方をもって

臈中 (RM 1 7) = 陽経実証

陰交 (RM 7) = 陰経虚証

以上による病位の決定後

両「缺盆 (S12)」、両「中府 (L1)」でえられたデータをもとに

陰経虚証は、陰経各経の O リングの開く経を証とする。

陽経実証は、陽経各経の O リングの開く経を証とする。

(結果) 我々の検討した方法によって、患者の病症に対し、成書にみられるような証と経穴 (必要施術ポイント) を特定でき、それらに対する針治療により、症状の軽減、消失をみた。

(結論) 鍼灸における証 (病位・病状判断) の決定は、その施術者の感覚に頼る部分が大半であり、それによって施術者同士の症例検討などが行われにくかったと考える。今回の方法を取ることで症例を相互に検討し合えるのと同時に、現在 Bi-Digital O-Ring Test によって、診断から治療、予後にいたる判断を共通認識の元で行えることを確認した。

Bi-Digital O-Ring Test による経絡・経穴のイメージング (第4報)

一足太陰脾経一

澤谷晴夫* 壺井博富* 増田一誠* 宮地仲八* 山本重明**

*高知県東洋医学 0 - リングテスト研究会、 **近藤病院 0 - リング科

【目的】 Bi-Digital 0-Ring Test (0 - リングテスト)により足太陰脾経の経路・経穴をイメージングし、その特性を調べた。

【対象】 正常人の男性と女性あわせて 13 名(19~63 歳)。

【方法】 脾臓の顕微鏡標本を共鳴のコントロール物質として用い、0 - リングテストで共鳴現象が見られる部位を調べることで、脾経の経路および経穴をイメージングした。脾経のほかに肝経・腎経が交わる“三陰交”の経穴で、三経絡の経線や絡脈をイメージングし、“三陰交”における各経路の深さを、第三者の持つ金属棒を皮膚面と平行にして調べた。また、針の先端のみ電動性を持つ絶縁電気鍼を、“三陰交”穴に刺針し、針柄を第3者にもたせて脾・肝・腎の各臓器と共鳴する針尖の探さを調べた。

【結果】 脾臓の標本により古典の記載とほぼ一致する脾経の経路・経穴が描出された。脳にある脾臓の代表領域もイメージングする事ができ、同部はインスリンでも共鳴現象がみられた。“三陰交”穴は三つの経絡が混合しているのではなく重層構造になっており、最も表層が脾臓が共鳴する脾経、中間層に肝経、一番深い層が腎経の三層に積み重なっていると思われた。また、経線は通常はごく表層を走行しているが、“三

陰交”穴の近くから、肝経・腎経はそれぞれの層の深さに応じて深部に潜伏していくものと考えられた。

【考察】大村教授の報告にあるように、脾経は脾臓では共鳴現象がみられず、膵臓の標本で共鳴現象がみられた。脾経特有の神経伝達物質とされているインスリンは、脳の膵臓の代表領域から経線や経絡、緯穴を通り、膵臓を経由して下肢の方向に流れていた。“三陰交”穴は皮膚の垂直方向からは、脾経・肝経・腎経の三つの経路が一つの経穴に集まっているように見えるが、皮膚の断面方向から見れば三層の重層構造となっており、経絡が立体交差しているものと考えられた。

Bi-Digital O-Ring Test によるスポーツ傷害の現場復帰のための評価

- スポーツ中 Oーリングテスト -

宮地伸八* 澤谷晴夫* 山本重明**

*高知県東洋医学 Oーリングテスト研究会 **近藤病院 Oーリング科

【目的】 回復期のスポーツ傷害における現場復帰のために、具体的なスポーツ動作中の傷害部における変化を、Bi-Digital O-Ring Test を用いて検討した。

【症例】 2 か月前にバレーボールでスパイクのためジャンプした際に、膝部を捻挫した 33 歳の女性。

【方法】 傷害部に心電図用生体電極を貼りつけ、リード線で電磁場を誘導し、指の条件をみたす第 3 者にその末端の金属部を握らせて、間接法による Oーリングテストをおこなった。安静時のみならず、姿勢による変化、さらにスポーツ時における具体的な運動動作中から、動作終了後の回復過程を Oーリングテストで調べた。臓器異常診断のほか、痛み関連物質として Substance P, Oncogene C-fos Ab-1, 循環障害の指標として Thromboxane B2 の共鳴現象を観察した。対照として下腿内側部と、健側膝関節部における変化も測定した。

【結果】 腰掛け位・立位ではほとんど異常を認めず、バレーボールにおけるサーブ・レシーブ・スパイクの各動作においては患部に負荷のかかり具合に応じた一過性の異常が認められた。動作によっては、健側の膝関節においても異常が認められ、その持続は最長でも運動中から終了後 4 秒までであった。患側では、健側に比べてその程度が強く、持続時間が長く、最長で 11 秒続いた。Substance P は Oncogene C-fos Ab-1, よりも軽い運動負荷においても観察された。

健常部である下腿内側では運動による変化は認められなかった。

【結論】 傷害部より電磁場をリード線で誘導し、スポーツ時における運動中の状態を、Oーリングテストで調べることにより、具体的な各動作における安全度の正確な評価が得られ、スポーツ傷害における現場復帰のために役立った。

Bi-Digital O-Ring Test による猫免疫不全ウイルス感染症

および猫白血病ウイルス感染症の診断

松宮淳一* 松宮賀子* 山本重明**

*高知県獣医学 Oーリングテスト研究会 **近森病院 Oーリング科

【目的】 近年、猫免疫不全ウイルス(FIV)感染症および猫白血病ウイルス(FeLV)感染症は、増加する傾向にあり、高知市においても感染猫の増加が観察されている。

今回我々は、これらの感染症に対して、**Bi-Digital O-Ring Test (○-リングテスト)**を利用した診断を試みた。

【方法】共鳴のコントロール物質としては、抗 **FIV** 抗体および **FeLV** 抗原の有無を **ELISA** 法で検査することができるキットの反応膜から、**FIV** 精製・不活化抗原と抗 **FeLV** コア蛋白 **p27** モノクローナル抗体がスポットされている部分を、それぞれ選択的に切除したものを利用した。

【結果】症例 1。雑種で 1 歳の雌猫(**ELISA** 法で **FIV** は陰性、**FeLV** は陽性)。レーザーポインターを用いて **O-リングテスト**を行った。全身代表点(眉間部)・腫張していた顎下リンパ節・尾・胴の部分で、**FeLV** の共鳴反応がみられた。

症例 2。日本猫で 2 歳 6 カ月の去勢済みの雄猫の血液(全血)を対象に、抗原・抗体の存在を **O-リングテスト**を用いて検査した。**FIV** は反応がなかったが、**FeLV** の共鳴反応がみられた。これは **ELISA** 法の結果と一致した。

症例 3。雑種の雄猫で年齢は不詳。血液(全血)では、**FIV**・**FeLV** とともに共鳴反応がみられた。これは **ELISA** 法の結果一致していた。また、全身(眉間部)・肝臓・脾臓・胸腺の部分で **FIV**・**FeLV** とともに共鳴反応がみられ、腎臓では **FIV** の共鳴反応がみられた。

【結論】 **FIV** 抗原および抗 **FeLV** 抗体のサンプルを作成して用いることにより、それらの感染症のスクリーニング、ならびに臓器別の診断を適格に行うことができた。

開口制限に対する抗生物質投与著効例

掘 勝利 福岡市 掘歯科医院

(目的)開口制限を訴えた患者にバイ・ディジタル **O-リングテスト**を用いて診察し、抗生物質を投与したところ著しい改善を経験したので報告する。

(対象と方法)顎関節部の疼痛による開口制限を主訴として、1994 年 6 月より 12 月までの間に当院に来院された患者は 3 名である。バイ・ディジタル **O-リングテスト**をおこなったところ 3 名全員に顎関節部の細菌感染が疑われ、同時に扁桃に関連すると思われる顎下三角部にも細菌感染が疑われた。山本の二点時間差刺激法により病変の主従関係を求めると、扁桃部が主で顎関節部は従であった。そこで扁桃の感染に対して効果的な抗生物質の種類と量を、バイ・ディジタル **O-リングテスト**により求め投与した。同時にドラッグアップテイクを増すために、耳の扁桃のツボと思われる所をバイ・ディジタル **O-リングテスト**により求め、鍼とソフトレーザーにて刺激した。

(結果) 3 例とも開口制限は 1-4 日で改善し、自覚症状は消失した。**CMS (Computerized Mandibular Scan)**においても、開口量の増大と開閉口速度の上昇が認められた。

(結論) 一般的に顎関節の感染症は顎関節症とは別の非常にまれな疾患だとされている。今回臨床的に顎関節症を考えた症例にバイ・ディジタル **O-リングテスト**により細菌感染を疑い、抗生物質の投与を行ったところ非常に著しい改善を経験し、顎関節部の異常に対して従来以上に感染症を考慮すべきであると思われる。また扁桃に関連した耳のツボの刺激はドラッグアップテイクを増す手段として、歯科では非常に有効であると思われる。

膝関節障害に対する歯科治療

藤井 佳朗

RSA スポーツ歯学研究所, 藤井歯科, 吉川病院歯科部

(目的)近年、歯の噛み合わせ（咬合）が、全身に対してきわめて大きな影響を及ぼすことが明らかになってきた。今回演者は、0-リングテスト結果を参考にして製作した咬合改变装置(マウスピース、スプリント)の膝関節障害に対する有効性を検討したので報告する。

(方法)医科での治療がほとんど奏功していないリウマチ性膝関節障害 2 名、原因不明の膝関節障害 1 名に対して、咬合改变装置を装着し、下肢の運動性、運動時疼痛や不快感の変化を調べた。被験者の膝の異常を 0-リングテストで調べ、その異常反応が消失する顎位を治療に応用した。なお、医科での治療に関しては、干渉しなかった。

(結果)リウマチ性膝関節障害者 2 名は、治療前は自力で起立することも不可能であったが、咬合改变装置装着直後に起立可能となり、その後、短期間のうちに歩行可能となるなど、劇的な回復を示した。原因不明の膝関節障害者も、装置装着直後から、明らかな運動性の改善がみられ、その後も回復基調をたどった。

(結論)内科や整形外科など一般医科で処置を行っても、無効或いは改善が困難な膝関節障害に対して、歯科治療は一度は試みる価値があると思われた。治療のための理想咬合位を求めるために 0-リングテストはきわめて有用性が高いと思われた。なお、膝関節障害で歯科を受診する患者が、まだまだ少ないため、一般医科と歯科との連帯強化と一般社会への啓発が必要と思われた。

Bi-Digital 0-Ring Test のイメージングによる顎関節部の診査

福岡博史 野本種邦 小山悠子 福岡明

(医)明徳会福岡歯科東洋医学研究所

〔目的〕近年、歯科口腔領域の第三の疾患として年々増加しつつある顎関節症は、種々雑多な要因により発症するといわれている。その診査に当たって、下顎頭、関節円板および外側翼突筋などの位置異常や器質的变化を調べることは病態を知るための重要なポイントとなる。そこで Bi-Digital 0-Ring Test (ORT)によるイメージングにより顎関節部を診査できるかどうか検討した。

〔方法〕下顎頭、関節円板、外側翼突筋のサンプルを用いて被験者の顎関節相当部にイメージングを行い、回転式パノラマ X 線撮影装置のうち散開節の 4 分割撮影が可能な「パノラ FW・XP-29」を用いて撮影した X 線画像と比較した。また、屍体の一例について同様に散開節部にイメージングを行った後、その剖検を行い、表皮上に示されたイメージング像がどのように投影されているかを調べ同規格で撮影した写真上で比較した。

〔結果〕X 線のトレース像と下顎頭の形態、位置関係を比較したところ近似した形態が認められたが、イメージング像において一部下顎頭頂部が不明確になることがあった。屍体の剖検ではイメージング像において各器官は他臓器イメージング像の如き拡大傾向は認められず、水平面に対して上方に投影されることが認められた。

〔結論〕BDORT のイメージングが散開節部の診査の一助となることが示唆された。

磁性を有する歯科用金属材料の Bi-Digital 0-Ring Test に及ぼす影響について

小山悠子 平林秀敏 野本種邦 福岡博史 福岡明

(医)明徳会福岡歯科東洋医学研究所

〔目的〕 MRI アーチファクトを生じる Co、Ni、Cr、Fe、Mo などの磁性を有する元素を含む歯科用金属補綴物が ORT の結果に如何に影響するかを調査した。

〔方法〕 メタルボンドクラウン(陶材焼き付け冠=MBC)の装着者の舌尖または舌側縁を当該冠金属露出部・陶材被覆部に当てた時、当該 MBC 装着歯肉または遠隔の歯肉に舌尖を接触させた時、また、ガーゼや綿花で当該 MBC を被覆絶縁した時、ORT が-4 と反応した胸腺代表域、臓器代表域、原穴および薬剤などを指標として二重盲検法により調査した。なお、磁性を有する金属を含んだ義歯金属床の口腔内装着時、義歯維持装置、磁性アタッチメント、インプラント材料チタンについても口腔内にて検討した。

〔結果〕 1 .Co-Cr 義歯金属床を装着し、舌尖、舌背などを金属部に当てた時は、ORT-4 はすべて+3~+4 と変化した。 2 .MBC の金属露出部および冠装着歯付近の歯肉部に舌尖を接触させた時はすべて-4 は+4 と変化した。 3 .同様、舌側縁を接触させた時はいずれも変化はほとんど認められなかった。 4 .当該金属材料を接触させる方法にて ORT に影響を及ぼす舌側縁のエリアについても推定できた。

5 .ガーゼ・綿花などで当該部を被覆絶縁した時は ORT 反応に変化はなかった。 6 .磁性アタッチメントの磁石補綴物構造体に舌尖を接触させた時は-4 は+4 と変化した。

〔結論〕 磁性を有する歯科用金属材料を使用した補綴物を装着している被験者の ORT については内容状態をよく観察し、充分配慮すべきことが示唆された。

Bi-Digital 0-Ring Test のイメージング法を用いて 治療経過を早めた口腔難症例について

福岡 明 野本種邦 小山悠子 福岡博史

(医)明徳会福岡歯科東洋医学研究所

〔目的〕 Bi Digital 0-Ring Test (ORT)により患者の全身状態を把握し、また、細菌やウイルスなどの感染、重金属の蓄積の有無および気血の流れなどを推測し、患部のエリアをイメージングし、治療の進行とともにそのエリアの縮小してゆくことを患者に確認させ、治ってゆくという期待を持たせながら、セルフコントロールを助長し、いわゆる心身一如の対応により治療を早めた経過を含めその有用性について報告する。

〔症例〕 敬関節症、顔面神経麻痺、三叉神経痛、舌痛症、顔面・頸部の慢性痺痛の症例

〔方法と結果〕 ORT イメージング法により、ウイルス、重金属、TXB2、サブスタンス P、などのサンプルにてイメージング法を行い、各サンプルの共鳴により、感染、蓄積、冗常部位を体表に描記し、また、ORT により示唆を得た薬剤、食品などの投与ならびに灸灸を含めた治療を行った。更に毎回イメージング法による患部エリアをポラロイドカメラにて撮影し、患者にも一枚渡し、順次エリアの縮小してゆくことを認識させ、セルフコントロールを助長して自然治癒力を増大させ、治療経過を早めることができた。

〔結論〕 心身一如の全人的歯科医療を行うにあたり、ORT による全身状態の把握、原因の発見、治療薬剤、方法の推定およびイメージング法によるエリアの治療傾向への変化の認識は口腔難症例の治療に極めて有用であることを認めた。

精製プロポリスパウダー(健康食品)のヒト悪性腫瘍に対する治療効果

下津浦康裕 M.D., F.I.C.A.E.

ORT 生命科学研究所

ミツバチが植物樹脂を染めて概帆や唾浪などと混合してつくり、架の中に蓄えているプロポリスは、多様な生物作用と薬理作用を有し、古代エジプト、ギリシャ、ローマの時代から東ヨーロッパを中心に民間伝承薬として使用されてきた。

一方、パイディジタル 0-リングテスト(BDORT)はヒト体内の悪性腫瘍の存在を、CT、ファイバースコープ、免疫学および生化学的検査など通常の一般的診断よりも、高感度で効率良く描きだせる。しかし、BDORT の診断のみ陽性で通常の一般的診断が陰性の人々や BDORT と通常の診断の両者が陽性で外科手術を待っている人々をその間いかに治療するかは重要な課題である。

演者は1993年以来、林原生物化学研究所から提供されたプロポリスのエタノール精製分画と無水マルトースとの混合粉末(健康食品、試製品)を肝癌、子宮癌、乳癌、胃癌、大脳癌、上鼻腔癌、白血病、脳腫瘍などのこのような患者たち(50 症例以上)に連日経口投与した。投与量は BDORT で各人ごとに最適量を判定した。その結果、現在までに殆どの症例で半月から一年位の間に悪性反応の消失や腫瘍の縮小など明らかな臨床効果を認めてきた。それらの代表的な症例を紹介したい。

なお、精製プロポリス粉末の副作用はこれまで全く認められていない。

精製プロポリスパウダー(健康食品)の成分と生物活性

栗本雅司

(株)林原生物化学研究所

プロポリスは古くから、その抗菌、抗ウイルス活性により様々な感染症などの治療に民間薬として用いられてきた。我々は、プロポリスから抽出したエキスを無水結晶マルトースを用いて水に対して分散性のよいプロポリス散剤を調製した。このプロポリス散剤は、マクロファージの活性化や実験的な癌転移の抑制作用など免疫系を介した機能を亢進させる。最近、強い抗菌活性を指標として新たにブラジル産のプロポリスから低分子量の物質を単離、同定した。

今回、この新たに見出した物質の抗腫瘍活性について検討したので報告する。本物質は *in vitro* の腫瘍細胞増殖試験において、用量依存的に数種類のヒトおよび動物の癌細胞の増殖を抑制した。同様に、担癌動物モデルにおいても腫瘍内投与によって抗腫瘍作用が認められた。病理組織学的には腫瘍内の広範囲の壊死と、各所に癌細胞の死が観察された。

これらのことから、抗腫瘍作用を示す物質を含有するプロポリス散剤は、ヒトの健康のために有用なものであると考えられる。